

2015～2016年度 R.I.テーマ
世界へのプレゼントになろう

R.I.会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン

事務所 飯田市通り町4-1293-1
☎23-3430 FAX23-3433
URL: <http://iidarotary.com/>
E-mail: iidaro@titan.ocn.ne.jp
例会日 毎週水曜日 PM12:30～13:30
例会場 シルクホテル ☎23-8383
会長 外松 秀康 幹事 木下 伸二



会報

2015.7～2016.6 No.3
MONTHLY REPORT

11月号

60年の感謝から奉仕の広がりへ



晩秋の紅葉（天竜川沿い）

私は季節の中で「秋」が一番好きです。秋にも「初秋」「中秋」「晩秋」とありますが、「晩秋」が一番好きかな。写真は11月中旬ライン下りの途中に船上から撮影したのですが、真っ赤、真っ黄という盛りの紅葉より、すでに葉を落とし終えた白い枝振りの木々の間に赤や黄色が点在する光景に引かれました。

「侘び 寂び」という日本人独自の考え方があります。生き生きとした自然より、むしろもの悲しい様に情緒を見出す。写真を撮っていてもなぜか「侘び 寂び」にカメラを向けてしまう私はやはり日本人の血が流れている。（撮影・文 加藤優治）

私のこの一冊

「実践経営哲学」「経営心得帖」

今から38年前、私38才の時、今は亡き父親から私が当時入会していた青年会議所はいつ卒業するのかと聞かれ40才が定年ですと返答したところ40才になったら社長を譲るからの事でした。

40才で社長交代したものの、経営のわからない時に出会った本が「実践経営哲学」「経営心得帖」でした。大変勉強になり、心の支えになりました。

この本では事業経営には経営理念が大切で「この会社は何のために存在しているのかこの経営はどういう目的で又どのようなやり方で行っていくのか」基本の考え方を持つ事が大切であるとの事でした。

事業経営においては技術力も大切、販売力も大切、資金力も大切、また人も大切、このように大切なものは個々にはいろいろあるが一番基

著者 松下幸之助

勝間田 悦明

本となるものは経営理念である。その根底があって人も技術も資金も活かされてくるとの事でした。

私は最初から経営理念を持って仕事をして来た訳ではありませんが少しずつ社員が増え、私なりに経営理念が出来て来たように思います。使命感に燃え仕事に取り組む事が出来ました。

経営上、悩んだ事数多くありましたが、そのたびにこの本を何回も何回も読み心のよりどころとしてまいりました。私の師の一つとして大切にきて来ました。

この本も昨年専務に渡しました。同じ道を歩こうとしています。



わたし しゅみ 私の趣味



I like...

吉江宗雄です、私は**スポーツ観戦が趣味**なんです。

ものごころついた時に見た**プロ野球**のマウンドには（もちろん白黒テレビですが）、八時半の男宮田征典が立っていた。長嶋茂雄より宮田である。当時のナイターは夜7時から。だから宮田は5回あたりからのロングリリーフを每晚していた。この男気にすっかり参ってしまい、私の巨人の24番と言えば高橋由伸でも中畑清でもなく、宮田である。

常勝巨人の基礎を宮田が作り、王や長嶋が活躍した昭和40年代、阪神には背番号11の村山や4のバッキーらがいた。また背番号31といえば掛布ではなく爪楊枝を加えたカーランドであった。

普段外人など見たことがない塩尻の山村に生まれ育った私は、そのころ見ていた全日本プロレスや国際プロレスと相まって、バッキーやカーランドが怖くて仕方がなかった。

全日本プロレスと言えばジャイアント馬場である（力道山の時代は残念ながら知りません）。やや遅れてアントニオ猪木、ジャンボ鶴田など本当に強かった。真剣勝負と信じて疑わなかった純粋な心の少年は、デス

トロイヤールやブッチャー、スタンハンセンなどに苦しめられながらも最後に十六文や卍固めで勝利を収めると興奮も最高潮に達していたなと思い起こされます。囚人の格好で出てきたザ・コンピクトや馬場よりはるかに大きいモンスターロシモフ（後のアンドレ・ザ・ジャイアントですね）は本当に恐ろしかった。私の悪夢にも時々登場していました。

一方、**国際プロレス**は四の字固めのグレート草津やヒップドロップのサンダー杉山、敵役の反則技を一切しない「人間風車」ビル・ロビンソンと地味で安心して見られるプロレスであった。後にストロング小林やラッシャー木村らが、金網デスマッチなどという乱暴なファイトを展開する前までは本当に家族揃って見ていた覚えがあります。

高度成長の陰りが見えた頃、長嶋茂雄もジャイアンツを去りました。監督長嶋はそんなに好きではなく、江川事件などを経て私のジャイアンツ愛は急速に冷めていきました。江川事件のときは高校三年生、世の中の裏側の仕組みに愕然とし、少し憤慨もしましたが、大学進学のため一人で上京する気持ちと相まって感傷的な気分にもなりました。（続く）

編集後記

地区大会も終わり、早いものでよいよ次年度役員を選出する時期になってきました。季節も紅葉を迎え、行楽には最適の時期です。親睦家族旅行が楽しみです。

（クラブ広報委員長 中村洋次朗）